

平成29年12月22日  
近畿総合通信局

## 研究開発における競争的資金の公募説明会を開催

～ 戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）平成30年度の公募 ～

総務省は、情報通信技術分野の競争的資金である「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE<sup>注1</sup>）」において、平成30年度から新規に実施する研究開発課題の公募を行います。

近畿総合通信局（局長：安藤 英作（あんどう えいさく））では、本公募に当たり、制度の概要及び提案要領等についての説明会を平成30年1月10日（水）に開催いたします。

### 1 公募期間

平成30年1月5日（金）から平成30年2月5日（月）17：00 まで

### 2 公募を行うプログラム

次のプログラムについて、提案を公募します。公募の概要、評価の主なポイント及び平成30年度の主な変更点は別紙のとおりです。

プログラム名	採択予定数
重点領域型研究開発（ICT重点研究開発分野推進型）	
ICT重点研究開発分野推進型（3年枠）	20件程度
ICT重点研究開発分野推進型（2年枠）	5件程度
ICT研究者育成型研究開発（中小企業枠）	10件程度
電波有効利用促進型研究開発	
ア 先進的電波有効利用型 フェーズⅠ	5件程度
イ 先進的電波有効利用型 フェーズⅡ	5件程度
ウ 若手ワイヤレス研究者等育成型	5件程度

### 3 応募方法

- （1）提案要領をご確認の上、提案書作成要領に従い、提案書を作成してください。
- （2）提案に当たっては、以下のウェブページに掲載する研究開発課題の提案要領及

び提案書作成要領をご覧ください。

([http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/scope/](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/))

- (3) 応募は、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）<sup>注2</sup>による電子申請で行ってください。また、総務省への「提案書の一部様式の提出」も必要ですので、本件の連絡先まで電子メールで提出願います。

#### 4 公募説明会の開催

##### 【開催日時】

平成30年1月10日（水）14：00から2時間程度

※ なお、ご要望により別途研究機関等への訪問による説明会の実施も可能ですので、本件連絡先までご連絡願います。

##### 【開催場所】

総務省 近畿総合通信局 4階 会議室

（大阪府中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎第1号館）

##### 【申込方法】

近畿総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課 宛てに必要事項をご記入のうえ、電子メールまたはファクシミリでお申込みください。

メールアドレス：renkei-k/atmark/soumu.go.jp

（迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しています。メールをお送りになる際は、「/atmark/」を「@」に置き換えてください。）

F A X : 06-6920-0609

##### ○必要事項

件 名：H30 SCOPE 公募説明会 参加申込

本 文：参加者の①氏名（ふりがな）、②所属（会社・団体名及び部署）、  
③連絡先（電話番号、メールアドレス）

##### 【申込締切日】

平成30年1月5日（金）17：00

（定員（40名）に達し次第締切りとさせていただきます。）

※ 説明会に出席されなくても提案の応募は可能です。

##### 【個人情報の取扱い】

お申込みの際にご記入いただいた氏名等の個人情報については、今後、当局主催

イベント等の周知に使用させていただく場合がありますが、第三者に開示・提供・預託は行いません。

## 5 その他 留意事項

本研究開発課題の公募は、平成30年度予算成立後速やかに研究開発を開始できるようにするため、成立前に実施するものです。したがって、予算成立状況に応じて内容に変更があり得ることをあらかじめご了承ください。

その他不明な点に関しては、本件の連絡先までお問い合わせください。

注1 SCOPE: Strategic Information and Communications R&D Promotion Programme

注2 <http://www.e-rad.go.jp/>

### 【連絡先】

(重点領域型研究開発及びICT研究者育成型研究開発、公募説明会について)  
情報通信部 情報通信連携推進課 (担当: 村上、雲林院 (うじい))

電話: 06 - 6942 - 8623

E-mail: renkei-k/atmark/soumu.go.jp

(電波有効利用促進型研究開発について)

無線通信部 企画調整課 (担当: 徳留、森)

電話: 06 - 6942 - 8543

E-mail: scope-kikakukinki/atmark/soumu.go.jp

(迷惑メール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。メールをお送りになる際には「/atmark/」を「@」に置き換えてください。)

プログラム名	対象とする研究開発課題	研究開発経費※ (年度当たりの上限額)	研究開発期間	備考
重点領域型研究開発 (ICT重点研究開発分野推進型)	<p>情報通信審議会「新たな情報通信技術戦略の在り方」第1次中間答申(平成27年7月28日)及び第2次中間答申(平成28年7月7日)を踏まえ、IoT/BD/AI時代に対応して、技術実証・社会実装を意識した、新たな価値の創造や社会システムの変革をもたらすICTの研究開発課題</p> <p>※ 3年枠 : 基礎的な段階からのボトムアップ的な研究開発を想定 2年枠 : 早期の実用化及び社会展開を目的としてフェーズⅡより実施</p>	<p>【3年枠】 フェーズⅠ : 300万円 フェーズⅡ : 1,000万円</p>	<p>フェーズⅠ : 1か年度 フェーズⅡ : 最長2か年度</p>	平成30年度から
		<p>【2年枠】 フェーズⅡ : 2,000万円</p>	<p>フェーズⅡ : 最長2か年度</p>	フェーズⅡのみ
ICT研究者育成型研究開発 (中小企業枠)	<p>(中小企業枠) ICT分野の中小企業の斬新な技術を発掘するために、中小企業の研究者が提案する研究開発課題</p>	<p>【中小企業枠】 フェーズⅠ : 300万円</p>	<p>フェーズⅠ : 1か年度</p>	フェーズⅠのみ
電波有効利用促進型研究開発	<p>(先進的電波有効利用型) 電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究開発課題</p>	<p>フェーズⅠ : 500万円 フェーズⅡ : 3,000万円</p>	<p>フェーズⅠ : 1か年度 フェーズⅡ : 最長2か年度</p>	フェーズⅡへの提案も募集
	<p>(先進的電波有効利用型(社会展開促進型)) 電波を用いたIoTシステムの構築や社会展開を促進し新たなワイヤレスビジネスの創出を意識した研究開発課題</p>	<p>フェーズⅡ : 3,000万円</p>	<p>フェーズⅡ : 最長2か年度</p>	フェーズⅡは提案内容によって評価の項目が異なる。
	<p>(若手ワイヤレス研究者等育成型) 若手研究者又は中小企業の研究者が提案する電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究開発課題</p>	<p>フェーズⅠ : 500万円 フェーズⅡ : 1,000万円</p>	<p>フェーズⅠ : 1か年度 フェーズⅡ : 最長2か年度</p>	若手研究者(39歳以下等)、または中小企業研究者

※別途間接経費(直接経費の30%を上限)を配分

# 採択評価の主なポイント

<b>重点領域型研究開発 (ICT重点研究開発分野 推進型)</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>研究開発目的が社会的課題の解決に資するなど、妥当なものであるか。</li><li>研究開発の内容は先進的なものであるか。</li><li>研究開発手法が妥当であるか。</li><li>研究開発成果が、ICTによる新たな価値の創造や社会システムの変革をもたらすものか。</li></ul> <p>(2年枠)(上記に加え)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>研究開発成果が、技術実証・社会実装を意識したものであるか。</li></ul>
<b>ICT研究者育成型 研究開発 (中小企業枠)</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>中小企業の斬新な技術の発掘・発展の観点で評価できる研究開発か。</li></ul>
<b>電波有効利用促進型 研究開発</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>新しい電波利用の実現に向けた研究開発か。</li><li>以下のいずれかの技術であって、おおむね5年以内に開発される技術として到達目標が明確に設定されているか。<ul style="list-style-type: none"><li>○周波数を効率的に利用するための技術</li><li>○周波数の共同利用を促進するための技術</li><li>○高い周波数への移行を促進するための技術</li></ul></li></ul> <p>【先進的電波有効利用型(社会展開促進型)】(上記に加え)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>電波を用いたIoTシステムの構築を目指した研究開発、新たなワイヤレスビジネスの創出や社会実装を意識した研究開発か。</li></ul>

詳細は提案要領及び評価の手引きをご参照ください。

# 平成30年度に向けた見直しの主なポイント

## 重点領域型研究開発(ICT重点研究開発分野推進型)の拡充

重点領域型研究開発(ICT重点研究開発分野推進型)プログラムに基礎的な段階からの研究開発課題について、地域ICT振興型研究開発の理念も包含する「3年枠」を設定。従来の研究開発成果の早期の実用化及び社会展開を目的した研究開発については、「2年枠」として募集。

対象： 大学、高等専門学校、民間企業、公的研究機関、NPO等の非営利団体等の研究者

### 【3年枠】

期間： フェーズⅠ：1か年度、 フェーズⅡ：最長2か年度

費用： フェーズⅠ：300万円、フェーズⅡ：単年度1,000万円（直接経費上限額。別途、間接経費30%）

### 【2年枠】

期間： 最長2か年度(フェーズⅡにより実施)

費用： 単年度2,000万円（直接経費上限額。別途、間接経費30%）